



# 住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

厳しい寒さによる暖房器具の多用で、今年に入り県内で火災が多発しています。犠牲者が相次いでおり、そのほとんどが住宅用火災警報器が取り付けられていなかったり、取り付けた部屋が不適切だったことによる逃げ遅れが原因と言われ、熟睡している深夜2時台がピークです。

住宅用火災警報器は昨年6月に設置が義務化されています。あなたの家にはもう設置されていますか？もう一度ご確認ください。

**▼どこに設置しなければならぬの？**  
就寝中の逃げ遅れを防止するため、**寝室として使用している部屋**に煙式の住宅用火災警報器を設置してください。

2階に寝室がある場合は、**寝室と階段の2箇所**に設置が必要となります。できれば、連動して働くものを選びましょう。一方で警報器が鳴っても、もう一方で反応がないのでは、逃げ遅れてしまう可能性がありますがあるからです。

また、義務化はされていませんが、火の出所となりやすい台所には、熱式の住宅用火災警報器の設置をお勧めします。

**▼どこから買えばいいの？**  
家電量販店、ホームセンター、電気店等で購入できます。

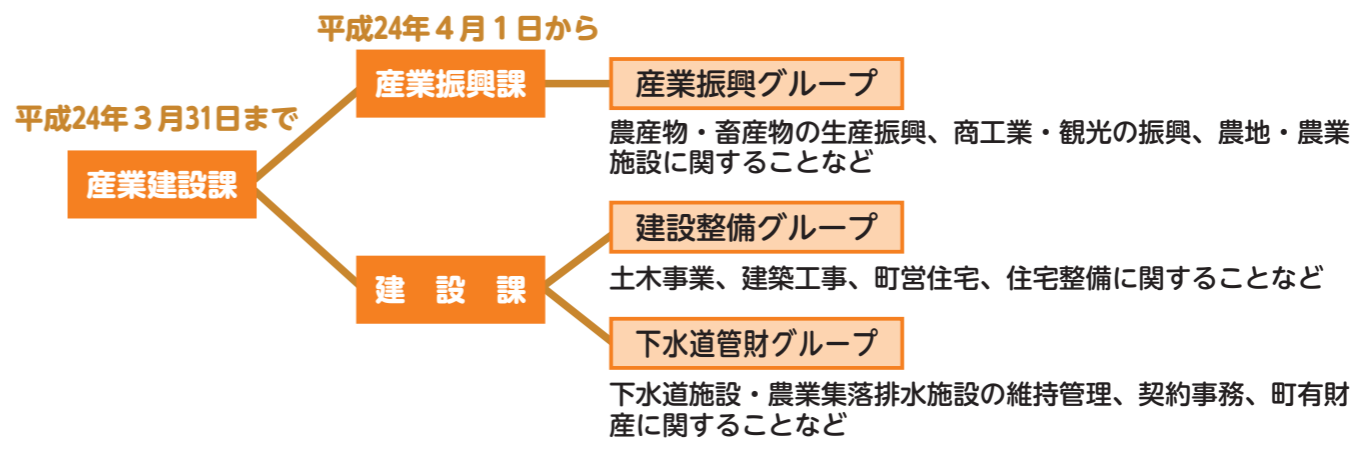
**▼どこで取り付けるの？**  
ドライバー一本さえあれば、簡単に取り付けることができます。ご自分で取り付けられない方は、電気店等に相談ください。



## 4月1日から役場内の組織が一部変わります

効率的な行政運営を行うため、行政改革実施計画に基づき次のとおり組織と事務分担の見直しを行います。

- 現在の産業建設課を産業振興課と建設課に分割します。
- 産業振興課には産業振興グループを、建設課には建設整備グループと下水道管財グループを設定します。それぞれのグループの担当事務は次のとおりです。



## 贈り物ありがとうございます

- ライオンズクラブから、30周年記念事業として車いす3台を町に寄附していただきました。車いすは保健福祉センターに2台、中央公民館に1台設置しています。
  - 東京中山会より、町発展に役立ててほしいと10万円の寄附金をいただきました。
  - 豊田小学校教育後援会から、豊田小学校にブルボン20枚とブルーヒーター1台を寄附していただきました。
  - 長崎小学校から、中山ひまわり荘(亀井啓荘長)に車いす1台を寄附していただきました。この車いすは、昨年4月からボランティア委員が中心となってアルミ缶の収集を始め、クラス対抗の大会を開催するなど工夫をしながら780kgものアルミ缶を集めて購入したものです。車いすを受け取ると、亀井荘長は「体の不自由なおじいちゃん、おばあちゃんが毎日使うものなのでとても助かります。今日は車いすと一緒に皆の思いやりの気持ちも受け取りました」と感謝の気持ちを述べられました。車いすが体の不自由な方の役に立つというお話は、児童たちにとってボランティア活動を続けていく活力につながったようでした。
- 皆さんの思いやりの気持ちが詰まった贈り物は、住みよい町づくりのために大切にさせていただきます。



ライオンズクラブより車いすを寄附していただきました



亀井荘長と長崎小学校ボランティア委員の皆さん